

平成 29 年度(第 2 回)ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 議事要旨(案)

1. 日 時:平成 30 年 3 月 28 日(水) 13:30~16:00
2. 場 所:朝日生命ビル 大手町サンスカイルーム 24 階 E 室
3. 出席委員:永田委員長、伊規須委員、酒井委員、田辺委員、益永委員、宮田委員、
若松委員
(オブザーバー)
環境省、経済産業省、総務省、北海道、室蘭市、東京都、愛知県、豊田市、
北九州市、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

4. 議 題: <公開>

(1) 北九州 PCB 処理事業における変圧器・コンデンサーの処分完了に向けた取組及び状況 について

<主なご意見>

- ・保管延長をしている 3 件については JESCO の技術、処理施設の関係で遅らせてもらっている、そのあたりの事情をわかりやすく記載すること。
- ・北九州事業所での取り組みについては来年の検討会で概要をまとめて報告するとともに整理し、次の事業所の処分完了に向けて役立てること。
- ・北九州事業区域の変圧器・コンデンサーの掘り起こし調査は 1 月で終わっている、まだ続いているような印象を与えないように用語の使い方など統一して区切りをつけること。

(2) 平成 29 年度における各部会の取組状況について

<主なご意見>

- ・内部技術評価の年度が統一されていない。早めに対応し年度内に結果を報告できるよう対処を考慮のこと。

(3) 平成 29 年度における各 PCB 処理事業の進捗状況について

<主なご意見>

- ・現在の JESCO の労働安全衛生状態は良好。昨年度、東京事業所で血中 PCB 濃度が高くなった人がいたので、作業安全衛生部会で東京事業所の作業環境を調査したが、改善され良くなっている。
- ・類似作業場所で事業所間による作業環境濃度が異なることの理由等を整理して示すこと。
- ・トランス、変圧器のような用語の統一を検討すること。

(4) 長期的な処理の見通しについて

<主なご意見>

・北九州事業所は終了に向かつての処理進捗状況を定期的に、自治体ばかりでなく、市民に情報提供するよう努力すること。

(5) J E S C O施設における「長期保全計画」の取組み状況について

<主なご意見>

・北九州事業所の第一期施設の補修については解体する時の作業環境を考慮して計画をしている旨を記載すること。処理のための補修か解体のための補修かを分けて記載した方が良い。

(6) 処理困難物対策について

<主なご意見>

・かなり実績がでており、期限内の処理完了が見込まれる。
・処理の進捗がより判るように、台数表記の他、容量・重量ベースも併記するような考慮をした方が良い。

(7) J E S C O施設の解体撤去の検討状況

<主なご意見>

・解体撤去マニュアル案は公表の段階には至っていない。個人的には早い時期の公表が好ましい。
・現行法との整合性の吟味が必要。もう少し詳細な検討を環境省でしてもらいたい。
・土壌汚染調査は事業所毎の特記仕様書に盛り込むことを考慮のこと。
・直島施設はまだ、見学できるので参考になる。

(8) その他

・田中委員ご退任。
・次回の委員会の開催は、委員長と相談の上で決定する。

以上